

衛生薬学・環境トキシコロジー 若手研究者の会

フォーラム2016プレシンポジウム

日時：2016年9月9日（金）14:00～

場所：昭和大学 旗の台キャンパス 2号館第4講義室

<http://www.senkyo.co.jp/eiseiforum2016/contents/access.html> 参照

第1部 特別講演

『多様なストレス感知－応答制御の仕組み
－衛生薬学の視点からのストレス応答シグナル研究の展開－』

講師：松沢 厚 先生

東北大学大学院薬学研究科 教授

第2部 若手研究者による演題発表と徹底討論

第3部 科研費に関する意見交換会

『科研費にも「負けに不思議の負けなし」：
エゴを通すか、申請書を通すか』

講師：熊谷 嘉人 先生

筑波大学医学医療系 教授



18:00～

懇親会

(タワーレストラン昭和 (昭和大学病院 入院棟17階))

対象

討論に参加する意志のある大学の若手教員およびそれに準ずる若手研究者
(薬学会会員・フォーラム参加者に限りません)
事前参加申込にご協力ください (7月22日締切、当日参加可)

発表申込

第2部での発表をご希望の方は
発表者名、演題タイトルを右記まで
お送りください (6月20日締切)。
後日、採否をご連絡いたします。

参加費

無料 (懇親会費は 4,500円 予定)

日本薬学会 環境・衛生部会
研究戦略委員会
若手研究者活性化小委員会

各種申込および問合せ先

摂南大学理工学部生命科学科 木村朋紀

TEL : (072) 839-8084

E-Mail : tomoki@lif.setsunan.ac.jp

衛生薬学・環境トキシコロジー

第3回 フォーラム 2016 若手研究者の会

プログラム

日時: 2016年9月9日(金) 14時～

場所: 昭和大学 旗の台キャンパス 2号館第4講義室

はじめに

来る9月9日に「第3回 フォーラム 2016 若手研究者の会」を昭和大学にて開催します。本会は、2年前からフォーラム：衛生薬学・環境トキシコロジーの前哨戦ともいえる「若手研究者による若手研究者のための研究会」として開催されており、活発な討論がなされております。本年度も、9月10日、11日に開催されるフォーラム 2016：衛生薬学・環境トキシコロジーの会期前に、衛生薬学領域、ひいては多岐にわたる学際領域でトランスボーダーな活躍が期待される新進気鋭の研究者に発表していただき、それに対して徹底的な討論を行います。また今回は、フォーラム委員長による特別講演だけでなく、研究戦略委員会企画の「科研費に関する意見交換会」を行います。近年では、多くの大学で科研費獲得が重要施策ととらえられ申請書作成のサポートなどが行われています。環境・衛生部会でも科研費獲得の充実に向けた情報交換・意見交換の場として、この意見交換会を企画いたしました。

参加する若手研究者・大学院生をはじめとする学生の皆様は、ただ講演を聴くだけではなく、討論に積極的に参加し、議論を盛り上げていただきたいと思います。その後の懇親会と併せて環境・衛生分野の若手研究者の輪が広がり、研究の活性化に繋がることを期待します。

日本薬学会 環境・衛生部会

研究戦略委員会

委員長

熊谷 嘉人 (筑波大学医学医療系)

委員

石井 功 (昭和薬科大学)

小椋 康光 (千葉大学大学院薬学研究院)

古武 弥一郎 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

角 大悟 (徳島文理大学薬学部)

田口 恵子 (東北大学大学院医学系研究科)

中西 剛 (岐阜薬科大学)

黄 基旭 (東北大学大学院薬学研究科)

長谷川 潤 (神戸薬科大学)

フォーラム委員会

委員長

松沢 厚 (東北大学大学院薬学研究科)

若手研究者活性化小委員会

委員長

木村 朋紀 (摂南大学理工学部)

委員

緒方 文彦 (近畿大学薬学部)

北 加代子 (帝京大学薬学部)

佐々木 由香 (昭和大学薬学部)

佐能 正剛 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

新開 泰弘 (筑波大学医学医療系)

高橋 勉 (東京薬科大学薬学部)

田口 恵子 (東北大学大学院医学系研究科)

平田 祐介 (東北大学大学院薬学研究科)

フォーラム 2016 若手研究者の会

14:00 – 14:05

はじめに

木村 朋紀 (摂南大学理工学部)

第1部 特別講演

14:05 – 14:45

座長 木村 朋紀 (摂南大学理工学部)

『多様なストレス感知-応答制御の仕組み

—衛生薬学の視点からのストレス応答シグナル研究の展開—』

講師：松沢 厚 先生 (東北大学大学院薬学研究科 教授)

第2部 若手研究者による演題発表と徹底討論 発表：15分・討論15分(目安)

1) 14:50 – 15:20 座長(1・2) 佐能 正剛 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

ナフトキノン骨格を有する化合物によって誘導される LPS 処理

マクロファージの細胞死に関する研究

小池 敦資 先生 (大阪薬科大学 生体防御学研究室)

2) 15:20 – 15:50

ウイルス DNA に応答する分子 STING の活性化機構の解析

向井 康治朗 先生 (東京大学大学院 薬学系研究科 衛生化学教室)

15:50 – 16:00 休憩

3) 16:00 – 16:30

座長(3・4) 高橋 勉 (東京薬科大学薬学部)

水俣病の病理仮説-炎症仮説-を構成する分子的基盤：メチル水銀による

Jurkat 細胞のパーフォリン/グランザイム B 経路の活性化

吉田 映子 先生 (東京理科大学 薬学部 環境健康学研究室)

4) 16:30 – 17:00

肝臓 AhR による脂肪毒性抑制作用

和田 平 先生 (日本大学 薬学部 健康衛生学研究室)

第 3 部 科研費に関する意見交換会

17:05 – 17:50

座長 田口 恵子 (東北大学大学院医学系研究科)

『科研費にも「負けに不思議の負けなし」:エゴを通すか、申請書を通すか』

講師:熊谷 嘉人 先生 (筑波大学医学医療系 教授)

18:00 –

意見交換会 (タワーレストラン昭和 (昭和大学病院 入院棟 17 階))